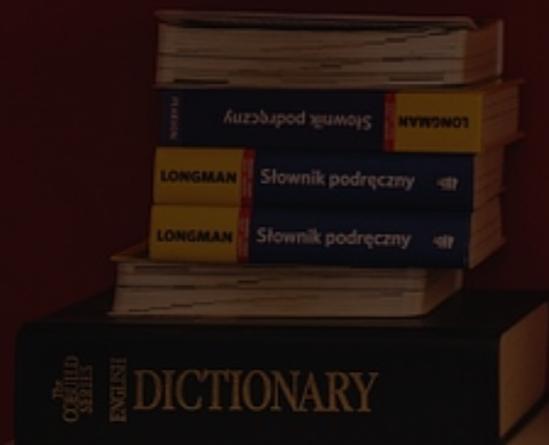




英語脳の作り方 & ネイティブも知らない発音のルール



★ 英語脳の作り方 & ネイティブも知らない発音のルール

この度は無料プレゼントをダウンロードして頂きありがとうございます。

ダウンロードして頂いたということは、少なからず英会話に対して興味や視線を集めてることと思います。こちらの資料では「**英語脳の作り方 & ネイティブも知らない発音のルール**」をお伝えし、英会話に対して少しでも良いキッカケになればと思い作成しました。

英会話はテストで良い点数を取る為ではなく、英語でコミュニケーションを取ることです。

私たち日本人は世界一難しいと言われている日本語を自在に操っているにも関わらず、世界共通言語で易しいと言われている英語を話せないという謎の現象が起こっています。

その日本人が英語を話せない大きな理由の一つに「**教育**」があります。

私たちは中学高校と6年間も英語を勉強しているのにも関わらず英語が話せないのです。また、英語を含む日本が敷いてる教育によって今の日本人の性格が決まってきました。

シャイ・YESマン・完璧主義・やたら謝る・間違えるのが怖い・コミュニケーション能力…etc

これらはこれからのグローバル化社会において邪魔者になるのはもはや明白です。今はまだ実感はないかもしれませんが、近いうち実感することでしょう。

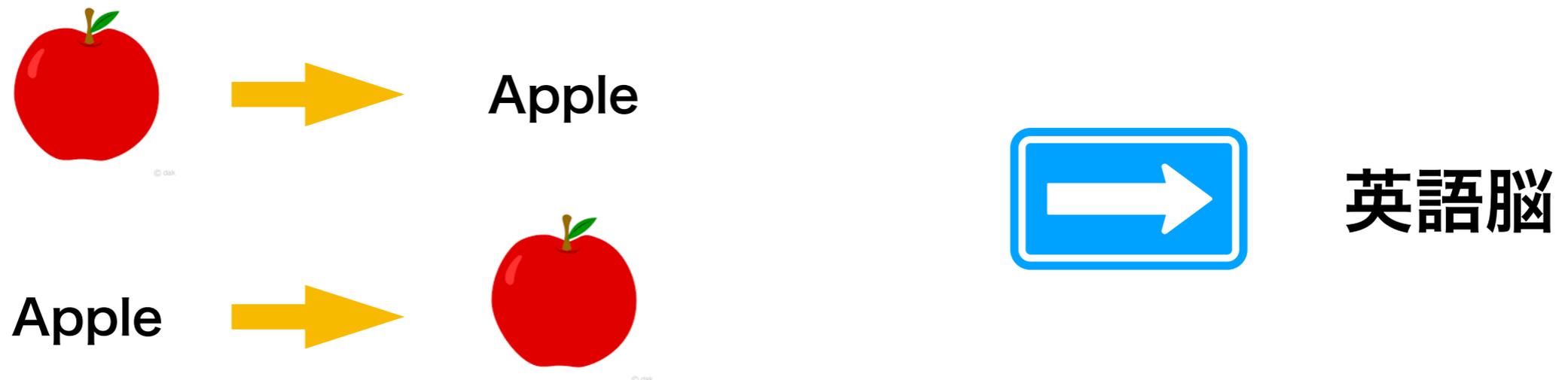
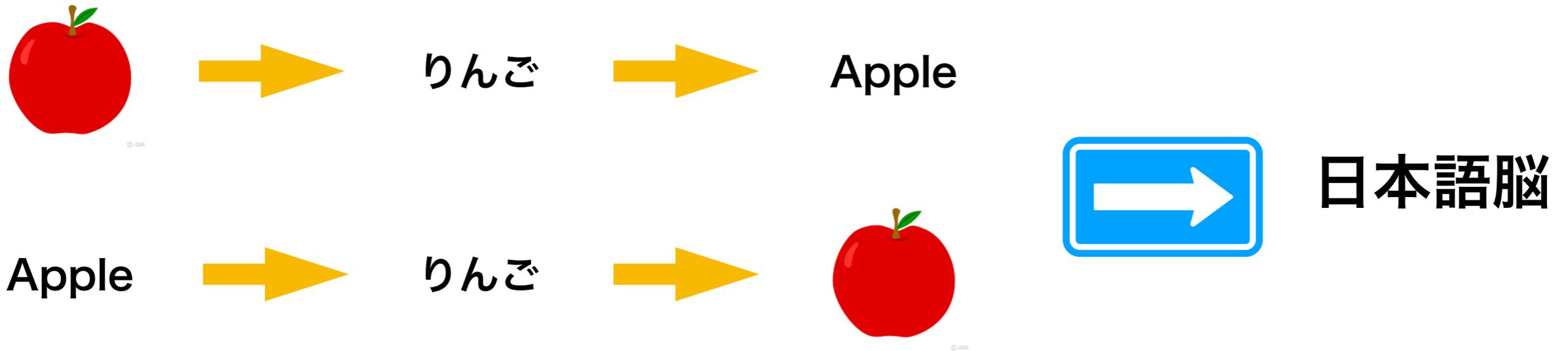
これから英語を話せるようになるには、無意識に染み付いている性格や思考、行動、癖を日本語脳から英語脳に変えなければいけません。

★ 英語脳の作り方 & ネイティブも知らない発音のルール

私たち日本人は日本語を英語に訳したり、英語を日本語に訳すという癖がついています。
この「訳す」というのが厄介で、習得のスピードを遅めてしまいます。

英語脳とは「英語で理解する」ということ。

イメージはこれです。



★ 英語脳の作り方 & ネイティブも知らない発音のルール

意識をすると、「あ、今訳してたな」と分かります。

英語で理解する為には、もちろん語彙力を付けることも大事ですし、何よりも生の会話で徐々に力が付いていきます。

生の会話をするということは外国人と英語で話しをすることですが、外国人の友達や知り合いがいない方もたくさんいらっしゃると思います。

外国人の友達がいる方やいない方も、自分の周りで英語に変えられる環境は変えていきましょう。

このプレゼントでは、そちらの方法をご紹介します。

また、インプットとアウトプットを繰り返すことによって劇的に聞き取れるようになる「ネイティブも知らない発音のルール」も2つご紹介します。日本語に置き換えて考えてみると面白いですよ。

それでは参りましょう!!!

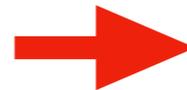
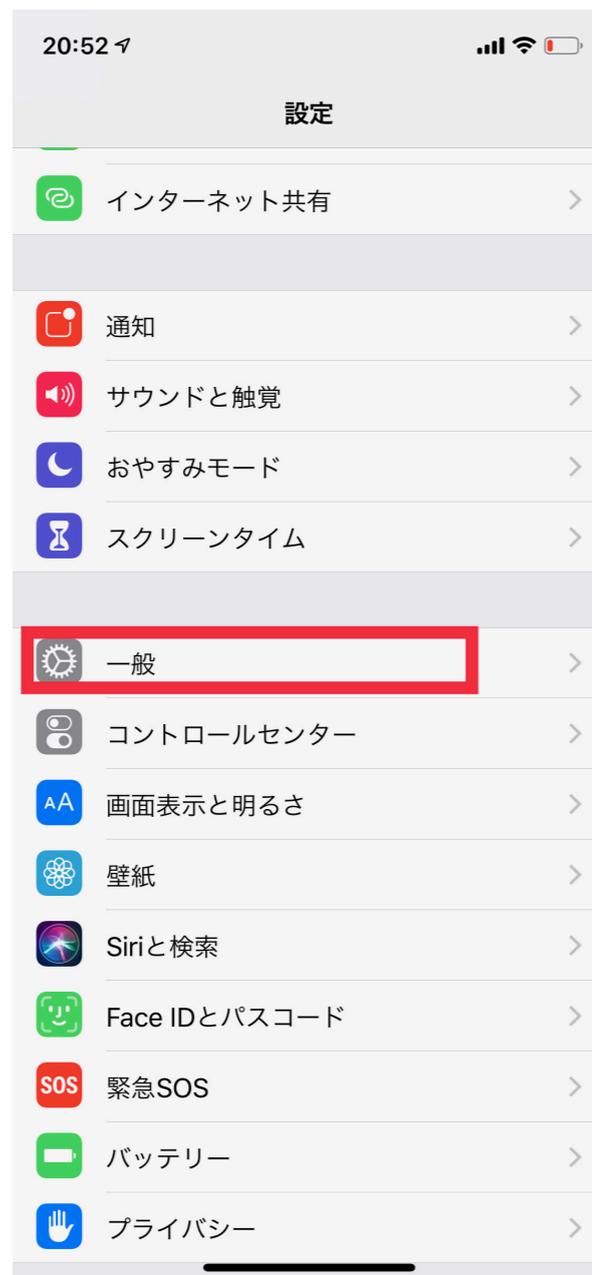
Let's get started!!!

周りの環境を英語にする～視覚的～

多くの日本人は日本語で情報を取得します。それらが多く占めるのは、スマホ・パソコン・タブレット。まずはこれらの視覚的な言語環境を英語に設定します。

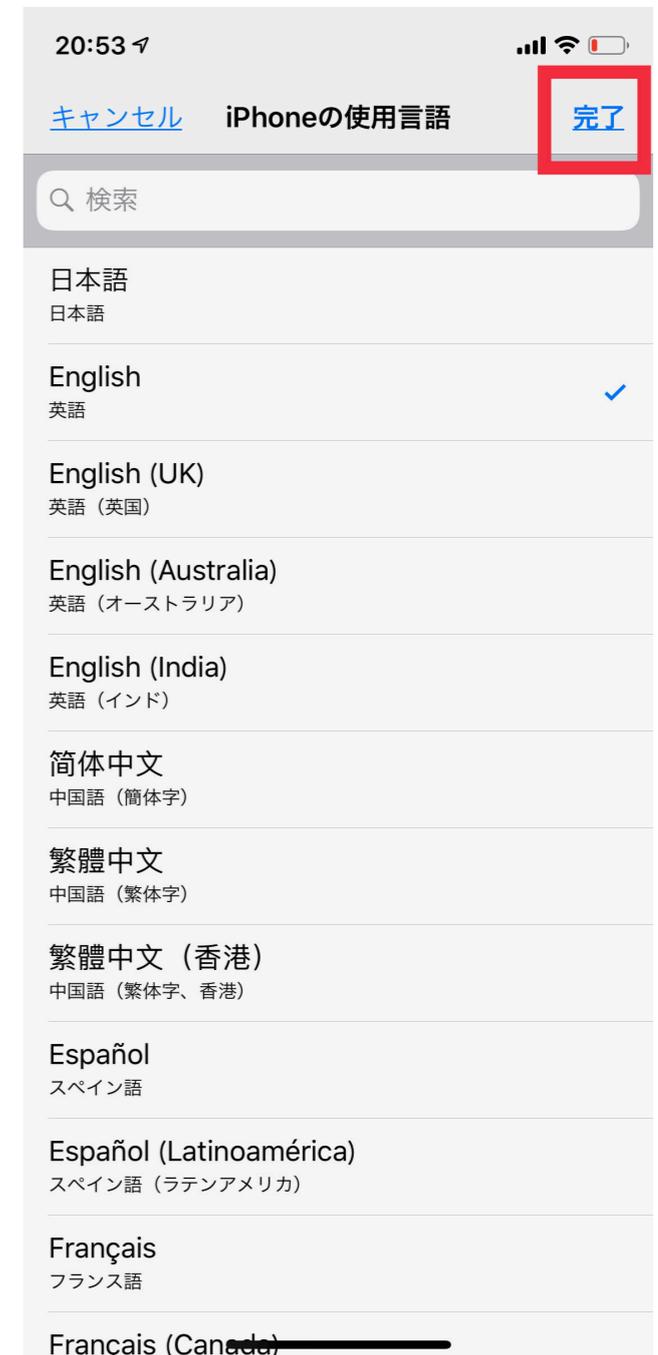
やり方はとても簡単ですのでやってみてください。最初は英語表記に慣れないかもしれませんが、しばらくすると慣れます。例としてiPhoneとMacの設定方法を説明します。

【iPhone設定】



☀️ 周りの環境を英語にする～視覚的～

【iPhone設定】



周りの環境を英語にする～視覚的～

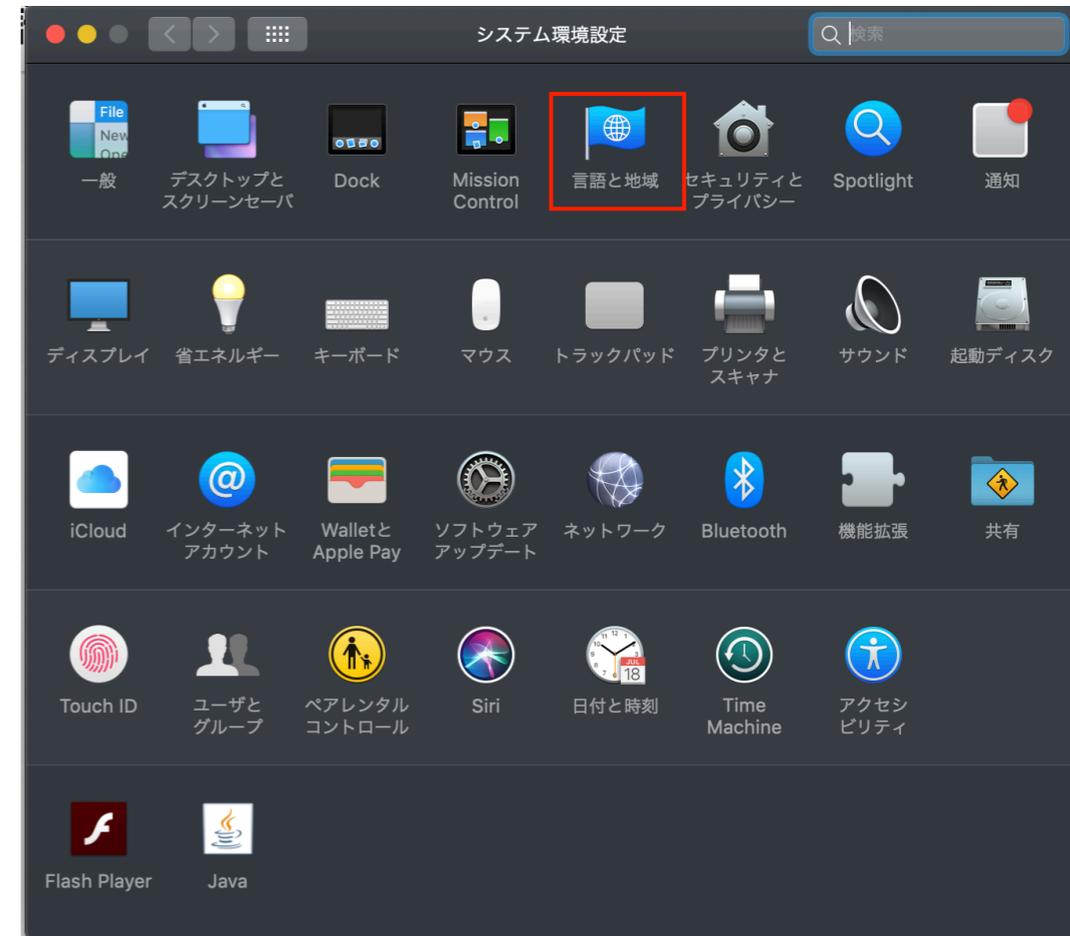
【iPhone設定】



完了!!

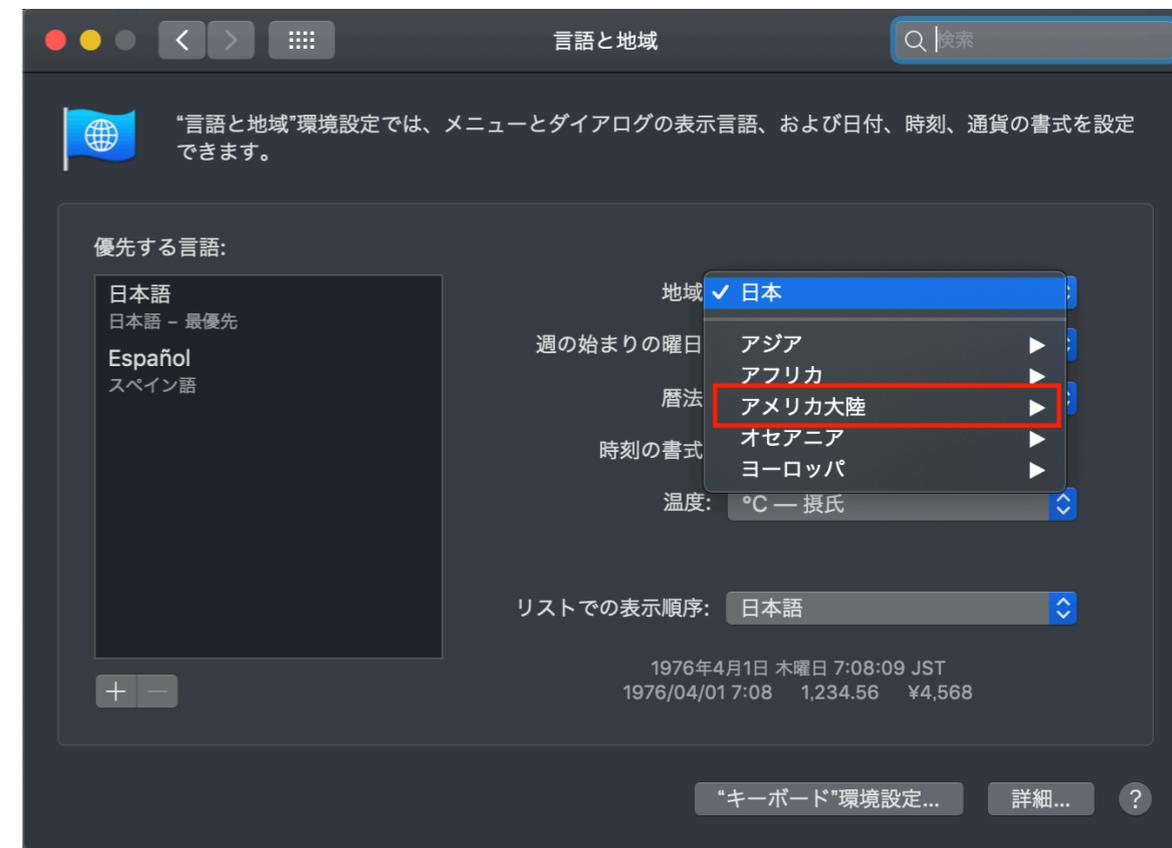
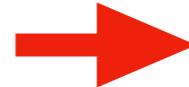
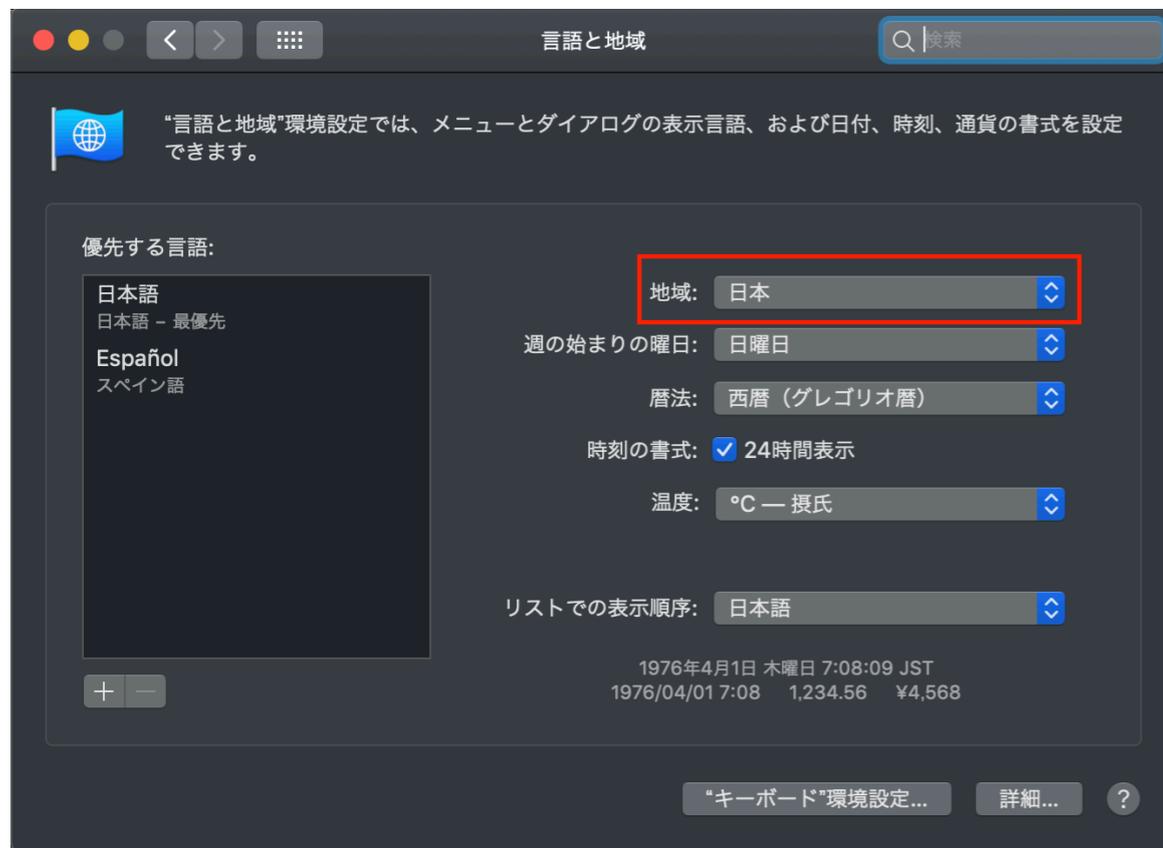
☀️ 周りの環境を英語にする～視覚的～

【Mac設定】



☀️ 周りの環境を英語にする～視覚的～

【Mac設定】



☀️ 周りの環境を英語にする～視覚的～

【Mac設定】

言語と地域

“言語と地域”環境設定では、メニューとダイアログの表示言語、および日付、時刻、通貨の書式できます。

優先する言語:

- 日本語
日本語 - 最優先
- Español
スペイン語

地域: 日本

週の始まりの曜日: [設定]

暦法: **アメリカ大陸**

時刻の書式: [設定]

温度: °C — 摂氏

リストでの表示順序: 日本語

1976年4月1日 木曜日 7:08:09 JST
1976/04/01 7:08 1,234.56 ¥4,568

“キーボード”環境設定... 詳細..

- アメリカ合衆国
- アルゼンチン
- アルバ
- アンギラ
- アンティグア・バーブーダ
- ウルグアイ
- エクアドル
- エルサルバドル
- オランダ領カリブ
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- キュラソー
- グアテマラ
- グアドループ
- グリーンランド
- グレナダ
- ケイマン諸島
- コスタリカ
- コロンビア
- サウスジョージア・サウスサンドウィッチ諸島
- サン・バルテルミー
- サン・マルタン
- サンピエール島・ミクロン島
- ジャマイカ
- シント・マルテン
- スリナム
- セントクリストファー・ネイビス

「アメリカ合衆国」をクリックするとOK

周りの環境を英語にする～視覚的～

私たちが日常でよく使うスマホ・パソコン・タブレットの言語環境を英語にしたら次のステップです。

② 新聞・洋画の字幕・小説・雑誌…etc

◆新聞◆

今はネットでも新聞を購読できる時代ですし、海外の新聞を購読するのもいい方法です。

- ・ ニューヨークタイムズapp

<http://www.nytimes.com/services/mobile/index.html>

- ・ ウォール・ストリート・ジャーナルapp

<https://now.wsj.com/mobile/>

◆洋画の字幕◆

内容を把握してるお気に入りの洋画をいくつかピックアップし、それを字幕無しで一度観てみましょう。

初心者の方はおそらくほとんど聞き取れないかもしれませんが、内容は分かってるので大丈夫です。

次に字幕を英語にしてもう一度観ます。リアルなネイティブの発音と文章を同時に観れますし、シャドーイングの練習にもなるのでおすすめです。

◆小説◆

本屋さんに行けば日本人なら幼稚園から知ってる童話や短編小説が英語に訳された本が売っています。

- ・ ラダーシリーズ

<http://www.ibcpub.co.jp/ladder/>

レベルに合わせた本が大量にありますし、オーディオブックもあります。

周りの環境を英語にする～視覚的～

③ SNS(Facebook・Instagram)・メモ・メール・LINE

◆SNS◆

現代人は日頃からSNSに触れる機会が多いですが、これも英語の環境にしましょう。
Facebook・Instagramのアメリカ版アカウントの作成や、日々の投稿を英語で投稿します。
海外の方と沢山友達になればコメントやメッセージでも英語でやり取り出来ます。
また、「英語勉強中です」と相手に一言伝えれば、文章の添削をしてくれるかもしれません。
慣れてきたら電話で話すことも出来ます。

◆メモ◆

日常ふとした時に、「これって英語でなんて言うんだろう？調べてみよう」の癖を付けると良いです。
ポイントは単語ももちろんですが、「言いたい文章」で調べたことをメモに英語で書き留めた方が良いです。

◆メール・LINE◆

メールやLINEも一言断りを入れてから英語で送りましょう。
新しく外国人の友達ができたら、その友達にも積極的に英語で文章を送るのも良い方法です。



周りの環境を英語にする～聴覚的～

次は聴覚的な部分です。「聞く話す」ですね。

日本人が英語を聞き取れないのは英語を話してこなかったからです。

まずは空耳で聞こえたまんま真似するところから始めてみましょう。

◆とにかく話す◆

いくら単語や文法をたくさん知って理解したとしても、実際に英語を話さなければ永遠に話せるようにはなりません。

そして話すにおいて恥ずかしさや間違いたくないという思いは一切捨ててください。

英語を聞いて分からなかったら再度聞きまくってください。

◆話す機会を作る◆

せっかく留学して英語を話せるようになって日本に帰ってきたのに、英語を使う環境が少なすぎて英語を忘れてしまった、、という方はたくさんいらっしゃいます。

英語を話す機会や環境は今の日本は少ないのが現状です。

ですので仲間と一緒にや自ら積極的に環境を作りましょう。

外国人がたくさん集まるパブやBARもいいですね。

↓のMeetupはたくさんコミュニティがあるので外国人の友達がたくさんできます。

・ Meet Up(Language exchange)

<https://www.meetup.com/ja-JP/>

◆洋画・洋楽◆

聞こえたまま真似をしてみましょう。次に歌詞や字幕を見ながら一緒に発音してみましょう。これはかなり有効な方法です。



周りの環境を英語にする～聴覚的～

◆Siri◆

iPhoneユーザーであればSiriの言語を英語にしてSiriに話しかけてみましょう。これである程度あなたの発音に通じるか分かります。

◆脳内英会話◆

通勤途中や日常の会話、気になったこと、ふと頭に思い浮かんだ言葉を頭の中で英語にしてみましょう。架空の人物を思い浮かべて自己紹介してもいいです。

◆道で外国人に話しかける◆

駅や道でマップを見てる外国人や、何か困ってそうな方がいたら話しかけてみましょう。あなたが思ってるほど外国人は気さくにフレンドリーに対応してくれます。

◆飲食店◆

外国人がよく集まるPUBやBARなどに入って美味しいお酒を飲みながら外国人とコミュニケーションを取ってみましょう。

◆日記をつけて声に出して読む◆

英語で日記をつけるのも良い方法です。書いた日記をSiriに向かって声に出して読んでみましょう。Siriが聞き取れたところは英文字が反映されます。

ネイティブも知らない発音のルール

英語がウニョウニョ聞こえるのは、色々な**発音のルール**によってそう聞こえます。

英語が第二言語である日本人にとって、あらかじめ発音のルールをインプットしておけば不思議と聞き取れるようになります。

Appleがアップルではなく、なぜ「**ェアポウ**」と発音するのか？

Let it goがレットイットゴーではなく、なぜ「**レリゴー**」と発音するのか？

ちなみにこのルールをネイティブは知りません。

日本語も同じです。日本語も発音のルールのオンパレードです。

1本2本3本,,,がイチポン、ニポン、サンポンではなく、なぜイッポン、ニホン、サンボンと発音するのか？

雰囲気フリガナを書く時はフンイキと書くのに、発音する時はなぜ「**フインキ**」なのか？

なぜこうなるのか、多くの日本人は知りません。

私たちがこれを気にしなくても話し聞き取れるのは、生まれた時から耳で日本語を覚えているからです。

文字や文法はある程度大きくなってから覚えていくので、英語も知ってる単語や熟語などを駆使して話しまくればいいのです。

新しく知った単語も使えば使うほど自然に使えるようになります。

また、話せば話すほど話せるようになります。

今回は代表的な「**フラップT**」と「**リンキング**」についてお話していきます。

知っていると知っていないとでは大きな差が出ます。

ネイティブも知らない発音のルール

日本人が英語が話せない原因として「カタカナ英語」が弊害になっています。ですので私たちのコミュニティではあまりカタカナ表記をしません。ですが、この無料プレゼントでは分かりやすいようにカタカナ表記をしています。

ちなみに英語には色々な英語があります。大きく分けてアメリカ英語とイギリス英語ですが、私たち日本人が学校で教わってきた英語はアメリカ英語です。ここではアメリカ英語の発音についてお話していきます。

◆フラップT◆

これは母音と母音に挟まれた「T」は「L」もしくは「D」になる場合が多いというものです。ラリルレ口の発音になると覚えて頂ければ大丈夫です。

Water→ ウォーター✕ ウワラー○ Get up→ ゲット アップ✕ ゲラップ○

Later→ レイター✕ レイラー○ Let it go→ レット イット ゴー✕ レリゴー○

Not at all→ ノット アット オール✕ ノラロー○

What are you doing→ ワット アーユー ドゥーイング✕ ワラユードゥーイン○

日本人の癖として、文のスペースは区切って発音してしまう癖があります。ですが英語はあまり区切らずに続けて発音することが圧倒的に多いです。ですので↑↑のような発音になります。

ネイティブも知らない発音のルール

日本人が英語が話せない原因として「カタカナ英語」が弊害になっています。ですので私たちのコミュニティではあまりカタカナ表記をしません。ですが、この無料プレゼントでは分かりやすいようにカタカナ表記をしています。

ちなみに英語には色々な英語があります。大きく分けてアメリカ英語とイギリス英語ですが、私たち日本人が学校で教わってきた英語はアメリカ英語です。ここではアメリカ英語の発音についてお話していきます。

◆リンキング◆

子音と母音の順番で隣同士の場合は、文字が離れていても繋げて読みます。

Pick up. → ピック アップ✕ ピカップ○

I was in America. → アイ ワズ イン アメリカ✕ アイワズィナメリカ○

Good afternoon. → グッド アフターヌーン✕ グダフターヌーン○

フラップTとリンキングはとても重要なルールです。

他にもマジックEやリダクション、他たくさんルールがあります。

◆ まとめ

ある経営者の方が仰っていました。

「**今日本人が優先すべきことは英会話だ**」と。

それくらい今の日本においては英語が必要ということです。

言語で一番難しいと言われているのは私たちの母国語である日本語です。

ひらがな・カタカナ・漢字に加え、音読み訓読み、一つの単語に複数の意味を持つなど、改めて考えればとてつもなく難しい言語です。

比較的習得し易い言語と言われる英語ですが、日本人にとって英語は難しいという認識です。

英語を話せるようになる過程で断言できるのは、**話さなきゃ話せるようにならないのと趣味としての英会話教室やなんとなく英語を話せるようになりたいな**という想いでは習得は厳しいということです。

ポイントは**何がなんでも英語を話せるようになりたい**という気持ちで取り組むことと、**仕事やビジネスで英語が必要という環境に身を置くこと**です。

現に楽○は社内公用語が英語ですし、日本の企業もグローバル化の進展に伴い、就職や転職、キャリアアップの際に見られるのが英語が話せるかが大きなポイントになっています。

自分は英語が話せなくても問題ない、英語求めてないと思ってらっしゃると方もいると思いますが、**自分が求めていなくても世の中が英語を求めています**。

また、英語が話せるようになれば、**情報格差・収入格差・人間格差・人脈格差・楽しみ格差・思考格差**を埋めることができ、それは**3億円**もの得をされると言われております。

私は今、世の中が必要としている英会話の市場で英会話スクールビジネスを立ち上げています。英語を話せるようになりたい方や英語力を生かしたい方でご興味ある方はぜひご連絡ください。

この無料レポートを受け取って頂いたあなたの
良いキッカケになれば幸いです。

Welcome to a whole new world.

Tadafumi Ugi